

こうせん る ふほんとう いみ  
**広宣流布の本当の意味は**

にち かんしょうにん  
日寛上人は、

「富士山は是れ広宣流布の根源の故  
に。根源とは何ぞ、謂わく、本門  
戒壇の本尊是れなり」

ろっ かんしょう  
(六卷抄 68 頁)

とおお  
と仰せです。つまり、全世界の人々が  
そう ほんざんたい せきじ げんご ほんもん  
総本山大石寺に厳護される本門戒壇の  
だいご ほんぞん きえ なんみょうほうれん げきょう  
大御本尊に帰依して南無妙法蓮華経を  
とな  
唱えることを「広宣流布」といいます。

む えん だんたい そうか  
大御本尊とは無縁の団体である創価  
がっかい おし ひろ  
学会の教えが広まっても、それは広宣  
そう ほんざん だい せ  
流布とはいいません。総本山第66世  
にっ たつ  
日達上人もかつて、

にち れんしょうしゅう きょうぎ いちえん  
「日蓮正宗の教義でないものが一閻  
ぶ だい ひろ  
浮提に広がっても、それは広宣流  
い  
布とは言えないのであります」

ぜんしゅう  
(日達上人全集 2 - 6 - 295 頁)

めい かく しめ  
と明確に示されているとおります。



大御本尊が厳護されている奉安堂

ほんにん みょうしやう  
**本因妙抄**  
この血脈並びに本尊の大事は日蓮  
ちやくちやくざ すでんぼう  
嫡々座主伝法の書、塔中相承の稟承  
ゆいじゆ いちにん けちみやく  
唯授一人の血脈なり。相構へ相構へ、  
ひ  
秘すべし伝ふべし

(御書一六八四頁)

創価学会員の方へ②

あなたが拝んでいらっしゃるのとは

**ニセ本尊**では

ありませんか？

創価学会の本尊は

なぜ『二セモノ』なのか？

もし、カラーコピーで紙幣を複写し、お札を作製するとします。どんなに本物と見分けがつかないほど精巧に作られたとしても、それは『二セ札』であり、作製し使用すれば法的に罰せられることとなります。なぜなら、

- ① 政府の正式な許可がなく
- ② 日本銀行から発行されたものではなく
- ③ 自分で勝手に作ったもの

だからです。創価学会の『二セ本尊』もまったく同じ道理です。

- ① 御法主上人の許可を受けず
- ② 総本山から下付されたものではなく
- ③ 創価学会が御本尊を勝手にコピーして作製したもの

だから『二セ本尊』というのです。

# 『二セ本尊』を拜んではいけません！

『二セ本尊』を受けてから、あなたは様々な問題に悩んでいませんか？ 例えば、原因不明の病気や経済苦、家庭不和など……。

『二セ本尊』には、正法に敵対する魔の力があり、これを拜むと魔の通力によって、身心を破滅させる恐ろしい悪業を積むことになるのです。

あなたが『二セ本尊』を拜んでいるなら、一刻も早く日蓮正宗の寺院を訪問して、正しい御本尊に帰依すべきです。幸せへの一歩はそこから始まるのです。

## 戸田城聖創価学会第2代会長の指導

「ただ、大御本尊だけは、われわれは作るわけにはゆかない。日蓮大聖人様のお悟り、唯授一人、代々の法主猊下以外にはどうしようもない」  
(大白蓮華 昭和34年7月号9頁)

## 創価学会版『折伏教典(改訂版 昭和33年6月)』

「富士大石寺の大御本尊を拜まないものはすべて謗法である(中略)大石寺にそむく謗法の輩がもつご真筆の御本尊には、大聖人の御たましいは住まれるわけがないのである(中略)信仰の対象として一切をささげて南無し奉る御本尊であるから、御山においては御相伝により、代々の御法主上人お一人が、したため遊ばされるものであり、我ら信者が云々すべきも恐れあることである」(折伏教典322頁)